第80回 県展

2026 和歌山県美術展覧会

洋画
日本画
書
写真
工芸
彫塑
華道

地方展

橋本展
令和8年11月20日(金)～11月24日(火) 10:00～17:00
和歌山県立橋本体育館(橋本市北馬場455)

上富田展
令和8年11月27日(金)～12月2日(水) 9:00～17:00
※11月30日(月)は休館日
上富田文化会館(西牟婁郡上富田町朝来758-1)

新宮展
令和8年12月16日(水)～12月20日(日) 10:00～17:00
丹鶴ホール(新宮市下本町2-2-1)

本展

第1期　洋画・工芸・彫塑
令和9年1月28日(木)～2月2日(火) 9:30～17:00※2月1日(月)は休館日
和歌山県立近代美術館(和歌山市吹上1-4-14)

第2期　日本画・書・写真
令和9年2月6日(土)～2月11日(木・祝) 9:30～17:00※2月8日(月)は休館日
和歌山県立近代美術館(和歌山市吹上1-4-14)

華道・招待作家部門
令和9年1月27日(水)～1月31日(日) 9:30～17:00
※1月31日(日)は華道のみ15:00まで(招待作家部門の華道を含む)
和歌山県民文化会館(和歌山市小松原通1-1)

入賞・入選者一覧

洋画部門

作品名	作者名	住所
【最優秀賞】		
響き合う	小林　洋子	和歌山市
【優 秀 賞】		
weave	阿部　葉月	田辺市
隠国（熊野）	梅本眞佐子	上富田町
助けあう人類愛	野上久美代	橋本市
Convert	米田　貫雅	和歌山市
【佳　　作】		
あ・の・ね	出山　良子	橋本市
かくれんぼ	京谷　純子	和歌山市
星夜の扉	栗栖美奈子	和歌山市
無	下向　栄一	新宮市
創造の中	辻　　環	橋本市
SINCE【還暦】1965	西浦　元康	新宮市
ガルニエ宮	ＢＵＲＧＥＲ	新宮市
EMO－4	藤田まゆみ	和歌山市
誕生	古谷　　登	みなべ町
息吹	米澤　克典	田辺市
【入　　選】		
自然の中で	井上　育子	岩出市
朝の微睡	岩田　邦男	和歌山市
えん	大江　咲綾	田辺市
睡蓮	大倉　郁子	有田川町
静寂の街	岡﨑　和子	新宮市
夕映え	岡本喜美子	有田川町
今ここに	小川　ちづ	海南市
この瞬間（とき）	温水起美好	新宮市
緑、正方形のコンポジション	川嶋　夏生	有田市
愛を唄う髑髏	木村　尚子	橋本市
威視	合田　圭吾	愛知県春日井市
古代のいのち	小瀬田有香	大阪府阪南市
バオバブ市場	Kondrashova Irina	和歌山市
戯れ	佐々木俊行	和歌山市
DOPAMINE GUARDIAN RELOADED	鈴木　宏文	和歌山市
閾	竹原　　愛	那智勝浦町
丹生都比売神社	多田　秀廣	紀の川市
フィラメント	田端　莉子	印南町
雪解けの頃	辻本　　渡	和歌山市
集団・社会	寺口　雄三	和歌山市
私の中の虹	長尾加津子	和歌山市
bears leave Japan	中尾　吏加	海南市
農場への山道	中西　輝数	紀の川市
火祭り	中西　信行	御坊市
兵士の願い	檜　ふじゑ	和歌山市
時を纏うひと	廣畑美智子	和歌山市
休演の刻	福原　正敬	紀の川市
界	古川　哲平	新宮市
遠い夏	堀田いつ子	和歌山市
ときはなつ	丸山　理恵	和歌山市
時　#11	宮脇　崇充	紀の川市
A-BABA	ＹＡＳＵＯ	御坊市
14：01	山崎りえ子	海南市
放課後の眼差し	山下　乃蒼	岩出市
此岸から見る彼岸の煌めき	山下　真央	和歌山市
Fiction の世界	山田　康廣	和歌山市
Remember U	坎本　稔子	和歌山市
シャットダウン	横田　真吾	橋本市
千年櫻－時を継ぐ－	吉住亜紀子	岩出市
境界都市	吉成　知晃	岩出市
箱入り息子の夢	米本　智恵	紀の川市
甦	綿野　淳子	海南市

日本画部門

作品名	作者名	住所
【最優秀賞】		
色取月	北野有里子	和歌山市
【優 秀 賞】		
ファンタジー	中井　裕子	和歌山市
【佳　　作】		
和歌山城	田中　佳代	有田市
【入　　選】		
風の盆	加藤　叔子	和歌山市
水韻	亀岡　俊和	かつらぎ町
錦秋	集田　信子	和歌山市
古の香り	谷口　澄子	橋本市
ショーウィンドウ	中島　宣子	和歌山市
倒木	宮本　國義	串本町

書　部　門

作品名	作者名	住所
【最優秀賞】		
水茎の	大西　眞葉	有田市
【優 秀 賞】		
梅の花	岡本　容子	紀美野町
白居易詩	山本　二蓬	田辺市
王文治詩	吉澤　義則	和歌山市
【佳　　作】		
藍仁詩	北畠　瑞香	和歌山市
暑雨後坐月	鬼頭　紅節	新宮市
姜宸英の詩	下村　真歌	海南市
秋日雑詠	白石　翠心	和歌山市
風の音に	中地　睦華	和歌山市
劉禹錫の詩	道尻　美暲	那智勝浦町
【入　　選】		
劉長卿詩	朝川　龍雲	岩出市
杜審言詩	阿瀬　美香	海南市
和太常韋主簿五郎温泉寓目	伊藤　渚月	和歌山市
うらうらに	井本　舟香	和歌山市
ながめつつ	岩岡　里恵	和歌山市
かくしつつ	大久保　静	和歌山市
獨不見	角谷　彩紅	和歌山市
盛錦詩	上浦　馨衣	田辺市
見せばやな	川嶌　彩葉	紀の川市
春のその	木下　和美	和歌山市
松の葉の	久堀美香代	和歌山市
王漁洋詩	坂本　悠苑	有田川町
旅寝する	笹野　美翠	印南町
けふのみと	佐藤　和子	和歌山市
幾山河	佐東　凉舟	海南市
岑参の詩	津田　香華	紀の川市
うちしめり	鳥渕　仁那	和歌山市
良寛の詩二首	長原　葵香	和歌山市
王恭の詩二首	中道　純僊	新宮市
あきはぎも	中村　友子	和歌山市
藤田幽谷詩	西濱　希苑	田辺市
木の間もる	濵本　芳洋	田辺市
高青邱詩	藤原　　理	和歌山市
かきわけて	松井　淳子	紀の川市
李憕の詩	松原　山恵	紀の川市
はなのかに	的場　順子	和歌山市
白ゆりの	百溪　陽舟	和歌山市
韋応物の詩	和歌　由扇	海南市

写 真 部 門

作品名	作者名	住所
【最優秀賞】		
夏の日に	田中美百合	和歌山市
【優 秀 賞】		
悠然自若	小串　明璃	上富田町
祭日	武面　邦夫	和歌山市
飛翔跡	谷所　清成	海南市
ゴーヤ	橋本　由介	海南市
【佳　　作】		
トビハゼの生活史	池辺　裕子	和歌山市
炎暑	岡　　裕子	和歌山市
歓喜の夜	北　　順夫	和歌山市
銀河へ	鶴田　圭吾	和歌山市
一瞬	浜崎　幾美	有田川町
秋惜しむ	前馬　定男	有田市
「どうどう」	森田　敏明	紀美野町
【入　　選】		
ラッシュアワー	Ayoan	紀美野町
午後のひととき	池田　義成	和歌山市
橋ものがたり	上ノ山陽子	海南市
湖北の休日	宇佐美公男	橋本市
見つめ合う天の川と雲海	浦　　幸兄	新宮市
空のあわいに暮らす	岡田　　治	田辺市
光臨	樫山　博美	みなべ町
天空の移ろい	柏田　清文	有田川町
砂の刻	５３９ＫＯＵ	和歌山市
雲海に浮かぶ城跡	児玉　正雄	岩出市
記憶の回想	酒井　雅治	橋本市
細波の木陰	酒井みゆき	橋本市
干潟のお散歩	坂口　　亨	和歌山市
静寂の朝	島田　健司	和歌山市
雲間から	田中　公康	和歌山市
収穫の四季	田邉　勉弘	和歌山市
助っ人	谷口　幸永	かつらぎ町
パフォーマンス	玉置　博信	和歌山市
怪魚	辻　　雅司	和歌山市
ハーモニー	土屋　義和	紀の川市
壁絵	中西　理恵	和歌山市
フェイス	西原　弘志	和歌山市
流れる	濱名　由利	和歌山市
きいろい風をつかまえて	堀内　　勇	橋本市
悠久の出会い	前田　龍昴	田辺市
紅葉の回廊	森面　淳起	海南市
都会の狭間	山口　敏幸	有田市
水のヴェール	山本　一也	御坊市
水底の空	湯川　叶愛	和歌山市

作品名	作者名	住所
蟻のモンサンミッシェル詣で	吉田　恭	日高町
刻の光	吉村　登	和歌山市
祈りの石	米村　昌則	和歌山市

工芸部門

作品名	作者名	住所
【優秀賞】		
暁へ	後藤佳世子	和歌山市
過ぎた日々	髙井　良子	橋本市
【佳　作】		
優しさを希も染めて〜夢を織る〜	岩峪喜美枝	大阪府河内長野市
緑釉流紋鉢「風車」	並松　雄二	岩出市
熱き想い	山田富美子	橋本市
【入　選】		
万華	池田　光博	海南市
飛鉋壺「拍手」	稲垣　博一	紀の川市
紅焔	梅野　京子	湯浅町
朝	大堀　由美	美浜町
ajisai	北澤　誓希	かつらぎ町
すいか	木下　真綸	岩出市
鉄釉飛紋鉢	久我口文雄	和歌山市
選ばれし者	児嶋　健博	和歌山市
種子	阪口　敏子	御坊市
語らう	佐竹　澄	和歌山市
HITOTOSE	嶋田　雅樹	日高町
祈り	髙橋　恵子	橋本市
my favorite pojagi	田中　淳子	和歌山市
戦士のポーズⅡ-1	谷本美保子	大阪府大阪市
木漏れ灯	南山　燈人	岩出市
青銅釉花器	面岡伊津子	大阪府阪南市
剣聖の言霊	派谷　高明	白浜町
春秋	日裏　幸代	印南町
白化粧　古鏡型　陶立体	平尾　芽衣	岩出市
マット釉花器「奏」	牧野　敦子	和歌山市
在る――BE	和田佳代子	和歌山市

彫塑部門

作品名	作者名	住所
【最優秀賞】		
ジャージーの森	木下　誉国	和歌山市
【優秀賞】		
パーティー	大西美和子	和歌山市
【佳　作】		
乞い願う	澤　守彦	紀の川市
【入　選】		
朱夏	中尾　吏加	海南市
混沌	中村　静子	大阪府和泉市

華道部門

作品名	作者名	住所
【最優秀賞】		
	松本　昌子	和歌山市
【優秀賞】		
	梶本　幸樹	和歌山市
【佳　作】		
	中屋知佐子	有田川町

洋　画

出品された方の人数を基準にすれば約 1.6 倍となる倍率の審査を経て、57 点の作品が入選となりました。一次審査では 8 名の審査員それぞれが、これはと思う作品に挙手をしていき、挙がった手の数を得票数として入選作品を決定しました。2 点出品の場合は総合的な評価として投票し、その後、いずれの作品を入選とするかを決める手順をとりました。入選作品を得票順に厳正に選出した上で、上位得点の作品について、改めて投票を繰り返すことで受賞作を決定しました。具象、抽象問わず、一定の画力を備えた堅実な作品が入選を果たす結果となりましたが、選外となった作品にもきらりと光る個性や魅力を放つものがありました。入選とならなかったとしても、底力を蓄え、ご自身の個性や魅力を活かした作品を描き続けながら、県展入選を目指して励んでいただきたいと思います。

（小林　公／兵庫県立美術館館長補佐・学芸員）

最優秀賞



響き合う

小林　洋子（和歌山市）

独自の世界観が感じられ、新鮮で魅力的な作品である。ややもすると説明的になってしまいそうな画面を作家自身の描写力と、表現の工夫でみごとにまとめあげた。習熟した水彩画のテクニックに加え、コラージュなど様々なモダンテクニックをうまくとり入れられて響き合っている。まさにオーケストラである。

（岡﨑　ゆみこ／洋画家）

優 秀 賞



weave

阿部　葉月（田辺市）



隠国（熊野）

梅本　眞佐子（上富田町）



助けあう人類愛

野上　久美代（橋本市）



Convert

米田　貫雅（和歌山市）

佳　　作



あ・の・ね

出山　良子（橋本市）



かくれんぼ

京谷　純子（和歌山市）



星夜の扉

栗栖　美奈子（和歌山市）



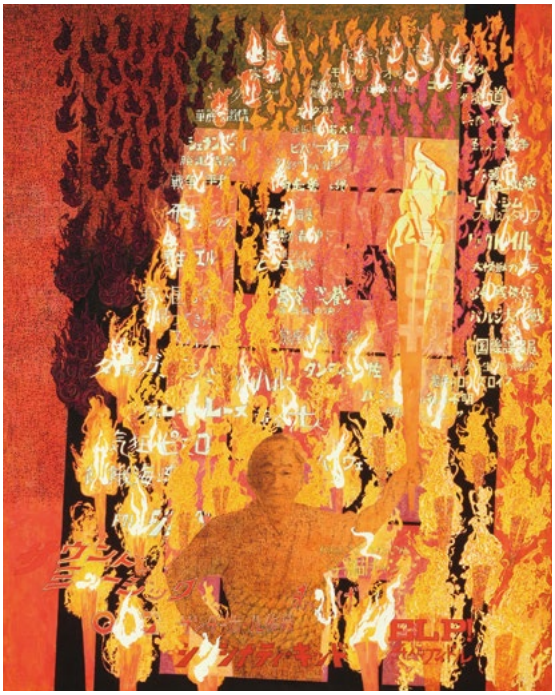
無

下向　栄一（新宮市）



創造の中

辻　環（橋本市）



SINCE【還暦】1965

西浦　元康（新宮市）



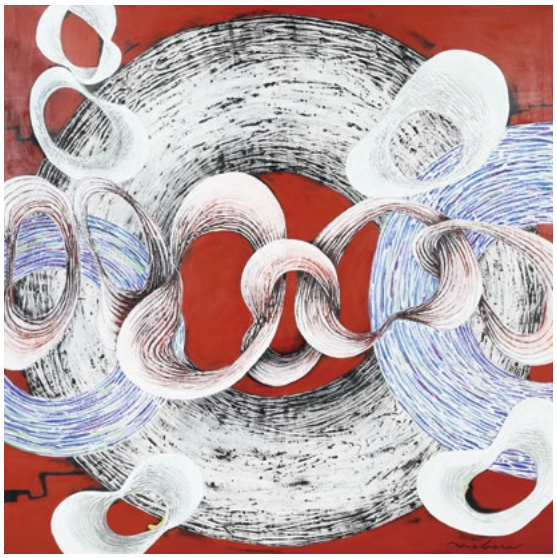
ガルニエ宮

BURGER（新宮市）



EMO－4

藤田　まゆみ（和歌山市）



誕生

古谷　登（みなべ町）



息吹

米澤　克典（田辺市）

日 本 画

今回は応募作品が前回より 5 点減った 12 点でしたが、前回同様、挙手によって入選作が決まった後、投票により入賞作を決めました。最優秀、優秀はすんなり決まり、佳作は票が割れ、再投票となりました。入選作品は、いずれも、各モティーフの写生を深め、それ等の配置を工夫し、コツコツと筆を重ね、線を起こしていて、更に加飾を施したものもあり、時間をかけて、ご自分の中のイメージを形にしていかれた様子が窺えて良かったです。今回入選や入賞を逃した方々も含め、焦らずにじっくりと構えて、これからも日本画を描いていっていただければ幸いです。（小倉　実子／京都国立近代美術館主任研究員）

最優秀賞



色取月

北野　有里子（和歌山市）

題名の「色取月」とは陰暦の 9 月の異称です。木々の葉が色づき、果実が実る季節に由来します。作品からは秋の深まりと澄んだ空気が感じとれます。

盛りを過ぎた樹木とその枝間を軽やかに飛び交う蝶との対比は、常に変化し続ける世の中や人にも共通しているように思えます。「一瞬の輝きと終わり」時の移ろいを感じさせる作品です。言葉を超えて見る人の心に深く語りかけてきます。技術面でも工夫と努力の跡がうかがえる秀作です。（増田　淑子／日本画家）

優 秀 賞



ファンタジー

中井　裕子（和歌山市）

佳　　作



和歌山城

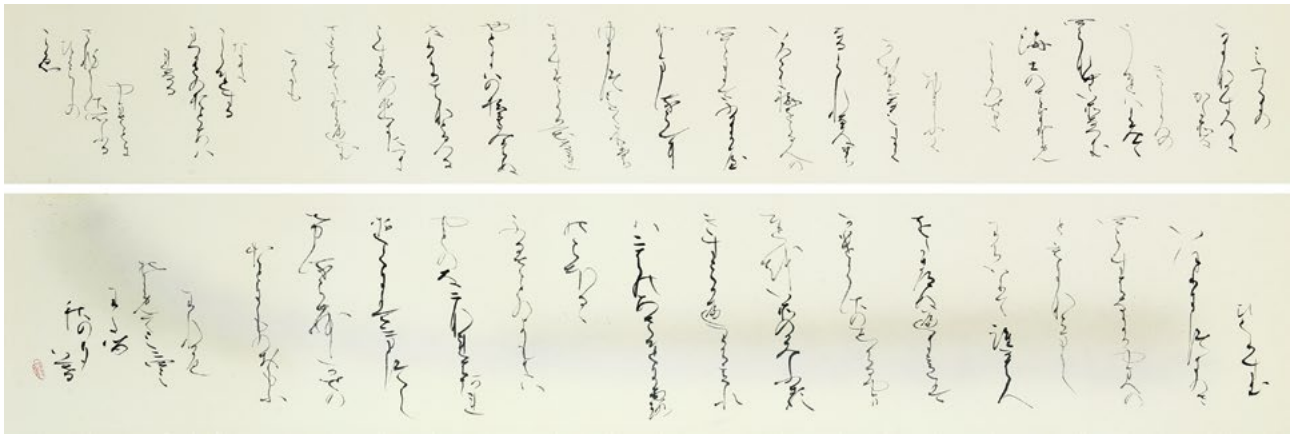
田中　佳代（有田市）

書

書部門におきましては、昨年を上回る 62 点（漢字 37 点・仮名 24 点・篆刻 1 点）の応募をいただきました。厳正な審査の結果、入賞・入選作品 38 点が決定しました。漢字作品は全体的に行草体が多く確かな筆力と優れた線質で気脈の通った３行構成の作品が評価を高めました。仮名作品は、運筆の美しい流れと墨の潤渇、文字の疎密の変化や空間を活かした作品が光っていました。今回出品いただいたどの作品からも日々の修練の跡が見られ出品者の方々の書に対する熱意が伝わってきました。デジタル化が進む現代においても書道は伝統的な日本の文化です。これからも書の魅力を発信し、次世代へ継承していきたいと思います。

（岡村　恵窓／毎日書道展審査会員）

最優秀賞



水茎の

大西　眞葉（有田市）

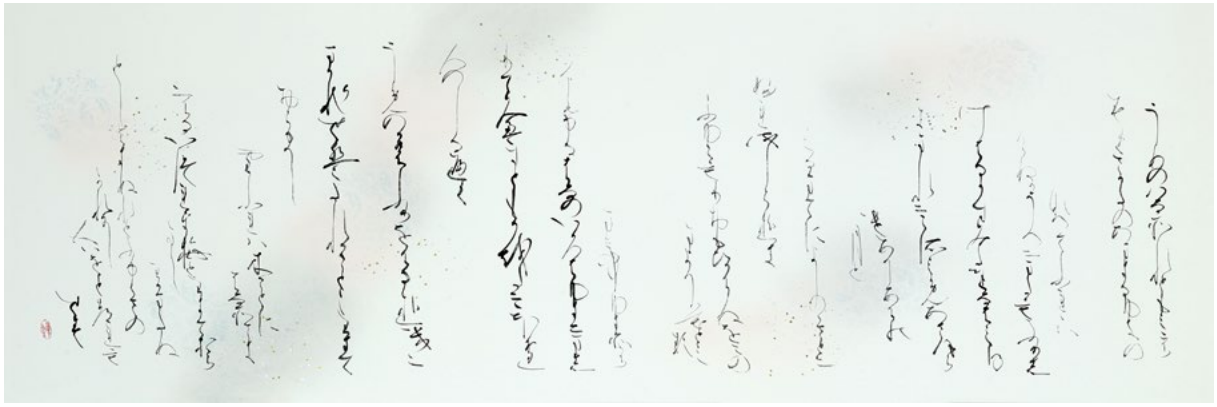
堂に入った書きぶりで迷いがない。縦横無尽に繰り広げられるドラマチックな演出はこの作品の真骨頂。

墨の潤渇によるコントラストは立体感を創出し、張りのある熟達した書線には充実感が漂う。中央部の盛り上げ具合も程よい。大きな動きの広がりのある文字と小さめの数文字をたたみかけたところとの対比は、いわば疎密の変化となり妙味を感じさせる。終盤で墨を盛り、放ち書きで全体を締めくくったことも実に効果的である。

さながら、大河ドラマを観ているかのようだ。

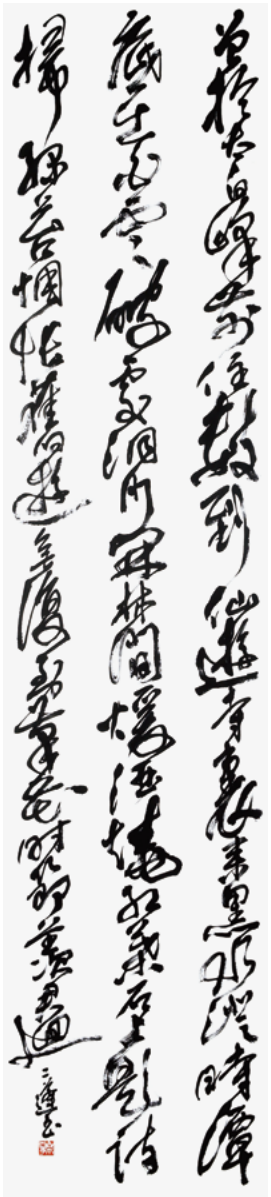
（舟尾　圭碩／書家）

優 秀 賞



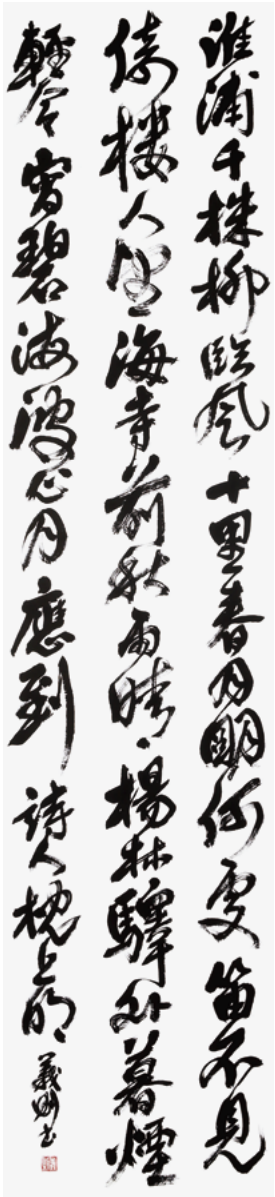
梅の花

岡本　容子（紀美野町）



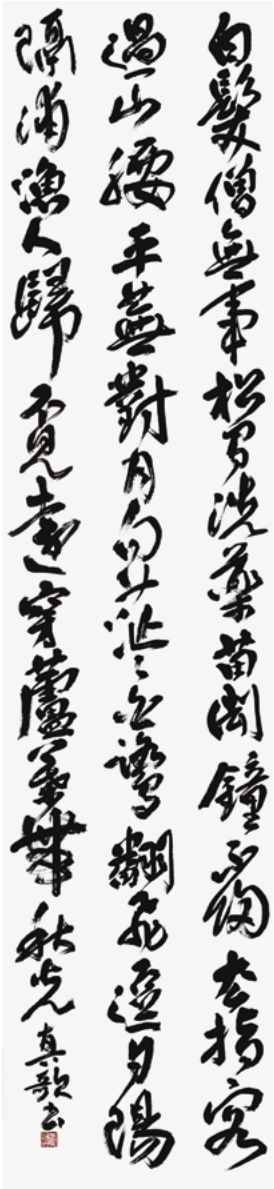
白居易詩

山本　二蓬（田辺市）



王文治詩

吉澤　義則（和歌山市）



姜宸英の詩

下村　真歌（海南市）



暑雨後坐月

鬼頭　紅節（新宮市）



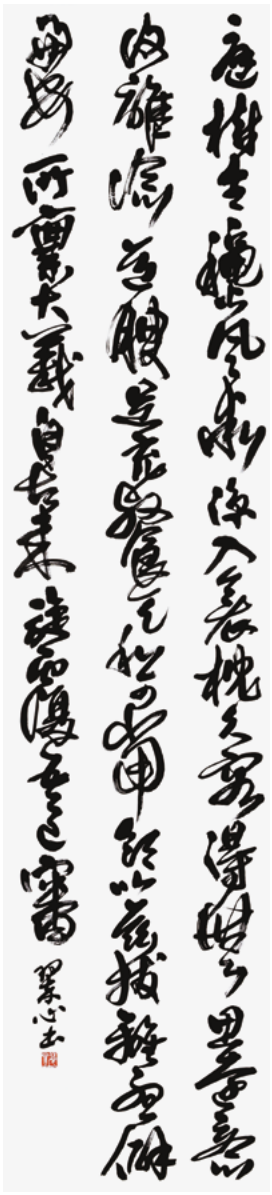
藍仁詩

北畠　瑞香（和歌山市）



劉禹錫の詩

道尻　美嶂（那智勝浦町）



秋日雑詠

白石　翠心（和歌山市）



風の音に

中地　睦華（和歌山市）

写 真

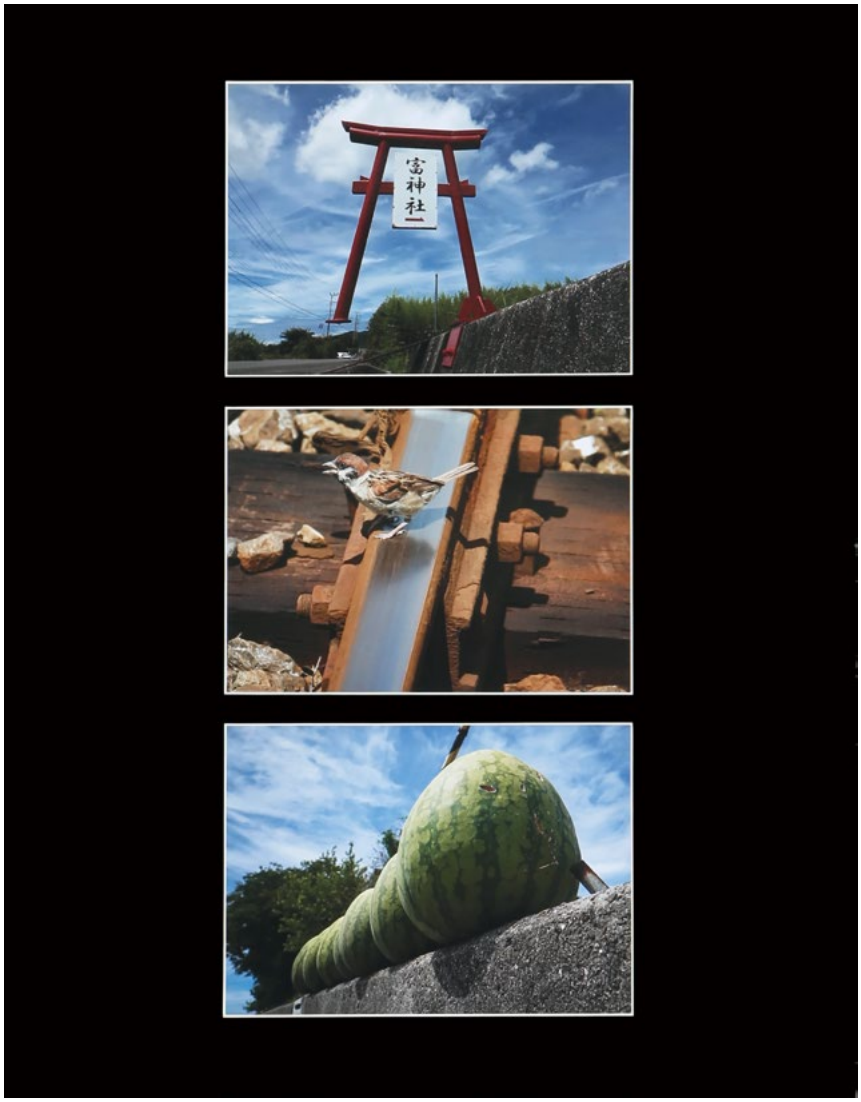
今回、初めて審査に参加させていただいた。80 名の方々から 92 点の作品が寄せられたが、複数点を出品された 12 名 24 点については、規定により選抜、80 点の作品から 44 点が入選となり、審査の結果は、昨年同様「狭き門」となった。

応募作品で目を引いたのは、カラー表現の多さである。「単写真」「組み写真」とも、ピントや色調等は申し分なく、その構図や画像処理も的確で、「絵作り」の手際良さがうかがえた。一方で、モノクロによる表現と、テーマとして日常生活や地域社会に取り組んだ作品の少なさが気になった。

市井で撮影する際の社会的「制約」や、デジタル処理の常套、さらには AI の活用が喧伝される今日、写真をめぐる環境は複雑に、その表現はデザイン的傾向に落ち着きつつある。だが、それだからこそ、写真本来のリアリズムに立ち返って、「視る」ことの感動を伝えるような表現が求められよう。

今後の皆さんの取材・制作活動に期待します。　（竹葉　丈／写真評論家　前名古屋市美術館学芸員）

最優秀賞



夏の日に

田中　美百合（和歌山市）

今年の夏は連日の猛暑日で、暑かった。

この作品は、夏の記憶の断片を３枚の組写真としてまとめられた秀作です。

一枚目は、雲浮く晴天を背景に一本足で立つ鳥居の不思議な光景が捉えられている。そして、３枚目には、コンクリート壁の上に並べられた「種取りスイカ」が異様な雰囲気を作り上げている。

何と言っても印象的なのは、２枚目のカットです。灼熱の鉄路の上でさえずるスズメの健気な姿が心に響いてくるのです。

また、タイトルは「夏の日に」とありますが、にの一文字を加えたことで物語性が膨らみ、作者の撮影意図がより一層伝わってくる作品となりました。　（花畑　重靖／写真家）



悠然自若

小串　明璃（上富田町）



祭日

武面　邦夫（和歌山市）



飛翔跡

谷所　清成（海南市）



ゴーヤ

橋本　由介（海南市）

佳　作



トビハゼの生活史

池辺　裕子（和歌山市）



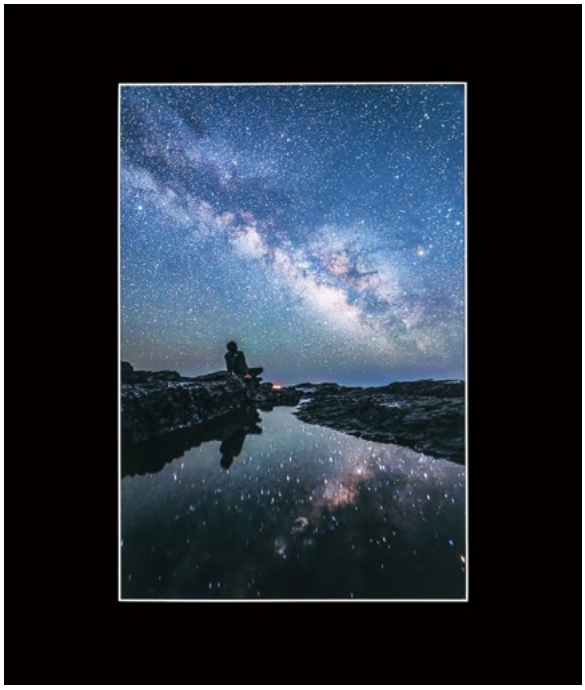
炎暑

岡　裕子（和歌山市）



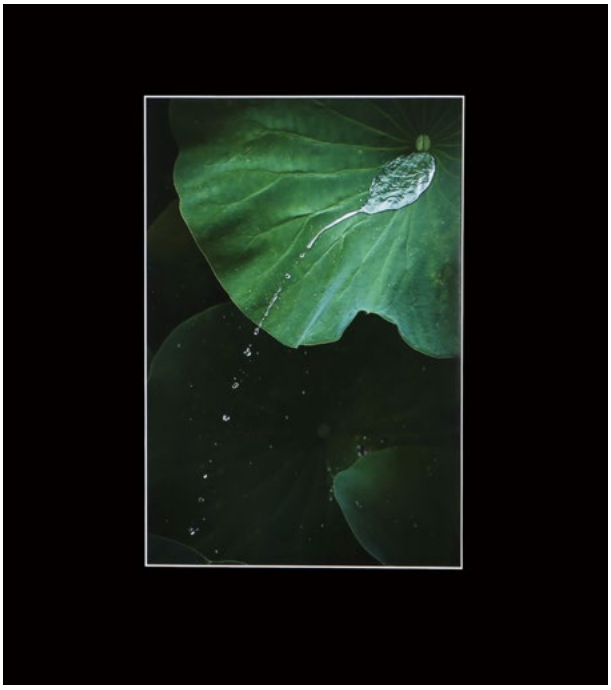
歓喜の夜

北　順夫（和歌山市）



銀河へ

鶴田　圭吾（和歌山市）



一瞬

浜﨑　幾美（有田川町）



秋惜しむ

前馬　定男（有田市）



「どうどう」

森田　敏明（紀美野町）

工芸

今回はここ 3 年の中でも応募点数が多く、32 名による 38 点の作品が寄せられました。全体的には陶芸作品の応募が多くありましたが、染織、漆、木工、金工、その他新しい素材技術を用いた作品も集まり、この地の作家の皆さんの層の厚さと熱意を感じることができました。選考においては、時間をかけて議論を尽くした結果、残念ながら「最優秀賞」は該当なしという結果となりました。しかしながら、漆絵の《暁へ》と藍染めの《過ぎた日々》は、どちらも力強い表現力と高度な技術力で見るものを惹きつける労作であると審査員全員が判断し、2 点とも「優秀賞」となりました。「佳作」については、3 点が同等に高く評価されたため、特例として 3 点とも佳作といたしました。　（吉岡　恵美子／京都精華大学芸術学部教授）

最優秀賞　該当者なし

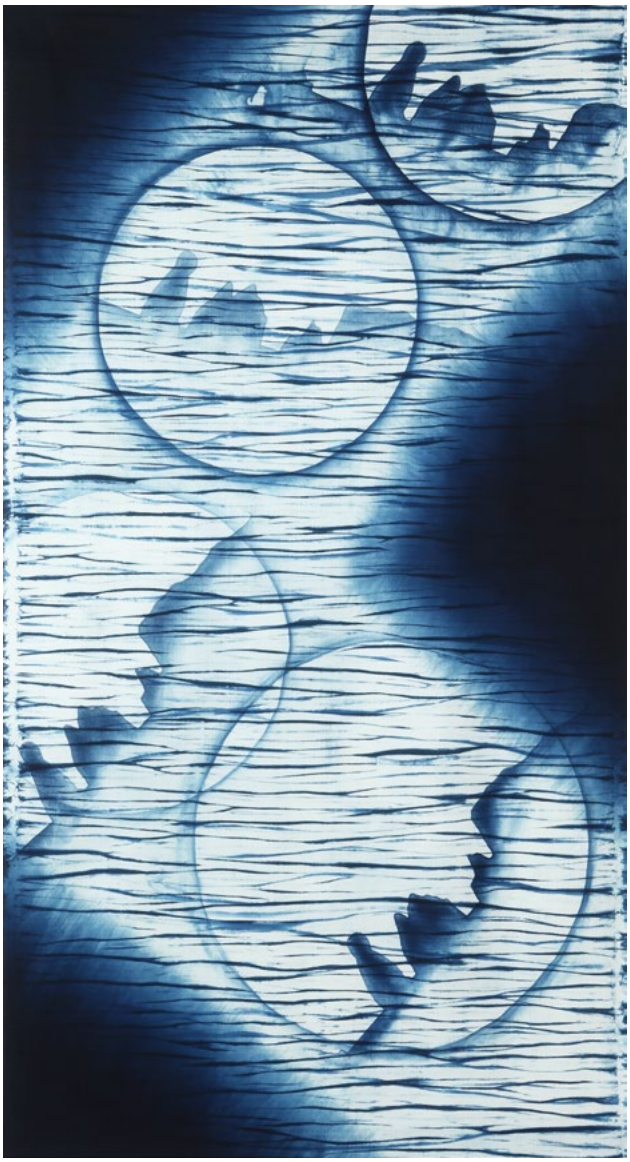
優 秀 賞



暁へ

後藤　佳世子（和歌山市）

陽光の射す荒浜で暁に向かって立つ白馬を、漆工に於ける卵殻貼り技法で繊細に時間を掛けて制作された作品に、作者の精力的な意欲が感じられます。　（山田　健二／漆芸家）



過ぎた日々

髙井　良子（橋本市）

空青し山青し海青しを連想させるような、藍の青と白が醸し出す光のコントラスト、橋杭岩とのハーモニー。

海面に漂う光の陰を見た瞬間、過ぎた日々の思い出が蘇り、藍染めの叢雲絞りと板締め絞りで染められた大作品です。

穏やかで懐かしい思い出が伝わってきて、南紀の風景を感じられる秀作です。　（田中　利恵子／染色家）



優しさを希も染めて～夢を織る～

岩峪　喜美枝（大阪府河内長野市）



緑釉流紋鉢「風車」

並松　雄二（岩出市）



熱き想い

山田　富美子（橋本市）

彫　塑

彫塑は本当に面白い分野です。応募者数は決して多くはありませんが、伝統的な木彫や石膏のみならず、布、土、プラスチック、金属など多様な素材を用いた作品が見られました。素材の選択肢が多いということは、逆に考えると、現代の彫塑は表現したいものがあらかじめ明確にイメージできていないと創り出すことができない分野だと言えるのかもしれません。

その中で最優秀賞に選ばれた《ジャージーの森》は、優れた造形的イメージと空間構成を実現すると同時に、素材との対話を楽しんでいるかのような遊び心が印象的な作品でした。入賞・入選点数は例年より少なめでしたが、強い個性や熱意を感じさせてくれる作品が目立ちました。　（池上　司／公益財団法人尼崎市文化振興財団アートディレクター）

最優秀賞



ジャージーの森

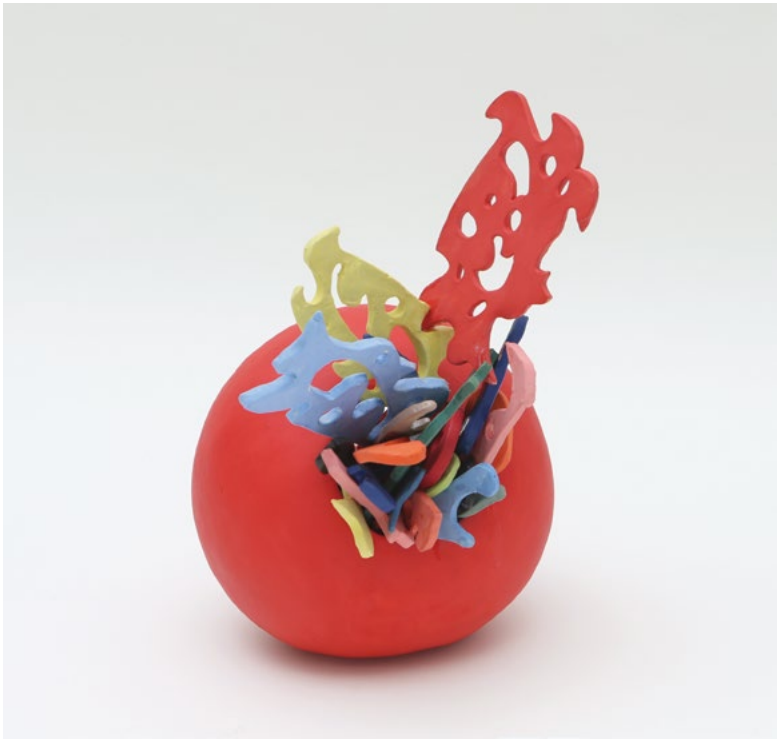
木下　誉国（和歌山市）

先ず、ブルーのグラデーションが爽やかで美しい立体造形と感じた。

骨組みは中心に鉄の芯棒、そして上下に木の円板。ジャージー布を使ってみごとに立体として表現したことに驚かされた。

細長く引き伸ばされた垂直軸とその両端を規定する水平円板。そのふくよかさと、空間のバランスを取る計画性に重力をも感じさせ秀逸。　（橋本　和明／彫刻家）

優 秀 賞



パーティー

大面　美和子（和歌山市）

佳　　作



乞い願う

澤　守彦（紀の川市）

華　道

第 80 回華道部門の作品は古典から現代的なものまで幅広くございましたが、作者がポイントとするものをそれぞれの作品から感じる事が出来ました。

行事、季節、景色、技法、新しい出会い、創意工夫など、色々な面から生ける事や鑑賞するのも華道の魅力の一つです。野にあるものに手を加え、自然の美しさをより一層引き出すには、日々の基礎的な研鑽が欠かせません。皆さまレベルの高い違う要素を持つ作品でしたが、先述した様々な観点から総合的に審査させて頂きました。

和歌山県で華道がこれからも日々親しまれ、益々振興・発展されます事を願っております。

（西阪　保則／日本いけばな芸術協会理事　専慶流家元嗣）

最優秀賞



松本　昌子（和歌山市）

竹の皮を色目どおり屈曲させた重なりで、全体のバランスを保たせうまく工夫を凝らしている。そこに色相を考慮し、重心を持たせるとともに強く引き締める縞ハランを随所に配している。またサンキライの実で小さな動きとやわらかさを上手く表現し盛り上げも効果的で躍動感も感じ取れる。見事な構成力、色調技法に優れ立体感溢れる力強さと重量感のある見事な素晴らしい作品である。　（宮脇　尚子／華道家）

優 秀 賞



梶本　幸樹（和歌山市）

佳　　作



中屋　知佐子（有田川町）

“招待作家部門” 出品リスト

●洋 画 部 門

作品名		作者名	住所
晩春の風景	【審査員】	岩本　芳	和歌山市
提示−2026	【審査員】	岡﨑ゆみこ	和歌山市
貝の詩：House	【審査員】	坂口　卓平	海南市
共生	【審査員】	中前　光雄	かつらぎ町
終日	【審査員】	中村　恵伍	和歌山市
明日へ・・・	【審査員】	益山　恵	田辺市
贈り物	【審査員】	松山　敏彦	かつらぎ町
蝶が飛んでいく		明渡　和子	和歌山市
赤いイス		朝日　卓志	和歌山市
ASOBU		有本ふみ子	和歌山市
掲・カプセル		池田　章子	和歌山市
FUJI		井澤佳代子	紀美野町
朋　2026−A		稲垣　紀子	和歌山市
しらさき彩岩		上ノ山博也	海南市
飛翔		浦木　優	橋本市
古都一隅		榎本　敬子	和歌山市
刻意		大林　彰子	和歌山市
月の心		小川　泰弘	海南市
沼（浮島の森）		奥川　祐子	新宮市
未来からの贈りもの		尾崎　功	和歌山市
蓮とかえる達		小原千冬子	和歌山市
大阪天王寺界隈		面矢　元子	橋本市
秋深く		片畑　順子	海南市
トラ・トラ		北浦　弘之	海南市
ひまわりの詩		北澤　恭子	橋本市
ダリア		北本　禎子	田辺市
熊野曼荼羅（磐座 No5）		楠瀬　伸和	海南市
鳴門の窯		小﨑　清子	和歌山市
上高地		古曽　成樹	由良町
WORK’26−5		阪本　聡	御坊市
漁船		阪本　由捷	御坊市
ドンテン		佐藤　円	和歌山市
玉葱		島　和子	大阪府岸和田市
雪と光と		島田　博雄	和歌山市
遠い記憶		清水　雅昭	太地町
一華		竹林　真弓	和歌山市
芽吹きの頃		橘　謙一	有田川町
カーニバル		立本みさほ	和歌山市
SAKUHIN		田中　淳子	和歌山市
遊		谷澤佐規子	和歌山市
白のシンフォニー		辻　勝己	和歌山市
蜜色の森		出口　十糸	海南市
漁港一隅		土井　敏弘	和歌山市
光が灯る夜		土井　久幸	和歌山市
牡丹咲く頃		中尾　久代	海南市
巻・巻・巻		中西　周代	紀の川市
かえり道		中面美佐子	大阪府泉南市
来音		中野　和夫	和歌山市
何処へ		中野　正士	橋本市
浮遊		中森　順一	和歌山市
ひまわり		棗　多江子	有田市
又兵衛桜（奈良県）		野﨑　廣	和歌山市
わたしの Venezia		藤谷万里子	和歌山市
海峡		保富　仁之	田辺市
浮游　2026−A		堀　憲子	和歌山市
想花		前田　充代	かつらぎ町
花咲く路地		増田　清子	和歌山市
Time Sense		松尾摩利子	大阪府岬町
山の神様からの贈り物		松岡　里美	紀の川市
花		松谷　弘子	紀の川市
生命の木		三阪　篤子	和歌山市
In a Green City 2026		三隅　俊昭	那智勝浦町
早春の御嶽山		宮本　偉敏	日高町
時代を構成する部分		無井由希子	和歌山市
耳をすますと		宗　佐代	海南市
恋占い		村下　良子	和歌山市
衣装合わせ		森岡やす子	和歌山市
深海		安田　澄栄	橋本市
女神ペルセポネの秋		山崎都基子	和歌山市
Error−01		湯川　雅紀	海南市
Cooking is fun		吉田美紀子	和歌山市
池にも TAMADENSHA		吉村　明夫	和歌山市

●日本画部門

作品名		作者名	住所
雪晴	【審査員】	角野千佳子	和歌山市
昼さがり	【審査員】	清水　薫	和歌山市
奏	【審査員】	田中　重造	有田市
薔薇	【審査員】	増田　淑子	和歌山市
サントリーニ島		浦野　ゑみ	和歌山市
弘前城外濠		近江友紀子	橋本市
白百合		小野千寿子	日高川町
グラジオラス		坂梨とき子	和歌山市
牡丹		﨑山　誓子	和歌山市
鳥の声		高橋　佳子	橋本市
雲間の太陽		髙幣　佳代	北海道札幌市
桜日和		藤井　秀子	大阪府熊取町
月あかり		南口みどり	橋本市
伎芸天		宮嵜　朋子	和歌山市
波の華		宮田　有子	和歌山市
牡丹		吉田晃一郎	和歌山市

●書　部　門

作品名		作者名	住所
仰ぎて天に愧じず	【審査員】	池永　碧濤	兵庫県西宮市
看脚下	【審査員】	小澤　清湖	和歌山市
溫庭筠詩	【審査員】	小島　健堂	和歌山市
鶴	【審査員】	小林　明香	和歌山市
唐詩	【審査員】	谷口　和光	紀の川市
惜別	【審査員】	舟尾　圭碩	海南市
煙碧柳回色		赤坂　松琴	和歌山市
月夜		浅井　香園	和歌山市
雪分けて		池田　一華	和歌山市
陸應穀詩		石井　里梅	有田市
春草新夢		伊藤　玉翠	有田市
和歌一首		岩橋　瑞花	和歌山市
儲光羲詩		岩本　茉光	紀の川市
花の枝		上田　大愚	和歌山市
王昌齢詩		上野　花園	和歌山市
くれないの		上野　朱煌	和歌山市
清眞		江川　真洲	岩出市
詩經		遠藤　美園	和歌山市
元朝		加納　敬舟	和歌山市
漢武帝の語		川﨑　大幹	岩出市
翰墨		川瀬　玲舟	和歌山市
荒城の月		岸畑由喜子	和歌山市

作品名	作者名	住所
虞世南詩	小谷　冬華	紀の川市
鄧文原の詩	小西　翔紅	和歌山市
花心一如	小西　泰鳳	海南市
薄霧の	佐藤　祥琴	和歌山市
五言句(木落遠山鐘)	佐原　草苑	和歌山市
吉武月二郎の句	靜　　一華	和歌山市
居敬而行簡	志茂　珠香	和歌山市
溪声山色	須佐　翠山	和歌山市
今こむと	角谷　真寿	和歌山市
欲済無舟楫	瀬藤　翠琴	岩出市
龍塞始應春	髙木　久琴	和歌山市
虚心来白雲	髙田　佳鳳	和歌山市
花	田端　弓燿	和歌山市
溪山無盡	田村　　剛	和歌山市
使至塞上	出口　抱琴	和歌山市
五言句	堂本　雅人	橋本市
初富士の	土肥　歌舟	和歌山市
すすき	戸村　舟里	和歌山市
たれしかも	中原　朱穂	兵庫県西宮市
陸游詩	中村　東光	和歌山市
唐詩選	中家　光苑	和歌山市
鄰	面　　紅邑	和歌山市
暮春山行	西村　霖風	和歌山市
鵲の	西本　紫舟	和歌山市
かぜふけば	抜井　恵舟	紀の川市
梅の花	濱口　朱草	和歌山市
三十六歌仙の句	福田　順香	新宮市
なにしおはば	松倉　映舟	和歌山市
正岡子規の句	松原　恵苑	新宮市
蘇東坡論句	松村　博峰	大阪府枚方市
終戦記念日に想う	三嶋　昭苑	紀の川市
冬山の朝	南　　雅仙	紀の川市
古愚	南坂　東英	紀の川市
朝日　今	柳川　朱萌	海南市
禅語	山本　清雲	和歌山市
井谷まさみち短歌	吉村　祥雲	和歌山市
こころざし	吉本　蒼琴	和歌山市
陳簡齋詩	渡辺　李光	和歌山市

●写真部門

作品名		作者名	住所
禊	【審査員】	青木　義雄	有田川町
母の肖像	【審査員】	照井　四郎	有田市
くらげ	【審査員】	花畑　重靖	海南市
スタート地点	【審査員】	山中　健次	かつらぎ町
舞う		石橋　洋一	和歌山市
波		神田真奈美	海南市
祈りの道		権出　毅一	紀美野町
平和への祈り(ミャンマー)		常田　　茂	紀美野町
森の泉		中道　　望	海南市
護摩供養		武津　孝雄	和歌山市
都会の喧騒		宮下健太郎	海南市
深緑の番人		柳岡　正澄	御坊市

●工芸部門

作品名		作者名	住所
冒険のはじまり	【審査員】	井澤　正憲	紀美野町
那智黒耳付花器	【審査員】	寒川　栖豊	白浜町
リズム	【審査員】	田中　紀子	大阪府茨木市
舞	【審査員】	田中利恵子	有田市
乾漆一輪挿し	【審査員】	山田　健二	海南市
路傍		礒田　好子	古座川町
彷徨		川口　典久	印南町
ROOM		喜𡈽　忠男	有田市
深海		嶋本　博文	和歌山市
ほしの子		澤　　幸	紀美野町
大壺		寺西　　豁	和歌山市
焼〆丸壺		西村　修次	みなべ町
平和への祈り		蓮尾　幸子	橋本市
流線文花器「黎明」		古谷　正義	白浜町
戯れる獅子Ⅱ		光成トミ子	岩出市
青緑釉凪文壺		宮内　　昇	大阪府貝塚市

●彫塑部門

作品名		作者名	住所
Crash or Build Ⅲ	【審査員】	大木　譲司	みなべ町
Kanon-月光	【審査員】	橋本　和明	湯浅町
侵食の過程		岡本　勝利	広川町
風の音		田村　　元	和歌山市
「Simple Technology」-技術への問-		日根　宏幸	和歌山市
港便り		松谷　靖夫	紀の川市
動かない場所		山根　淳史	上富田町
花		山本(西村)美智子	和歌山市

●華道部門

作品名		作者名	住所
	【審査員】	福永八千代	和歌山市
	【審査員】	宮脇　尚子	和歌山市
		池永　喜世	広川町
		岡﨑　玉苑	和歌山市
		覚峰院 皓月斎 田中 正甫	橋本市
		楠石　佳代	和歌山市
		田村由佳子	和歌山市
		平田　喜甫	和歌山市
		藤井　豊節	岩出市
		藤本　豊香	和歌山市
		湯川　豊章	和歌山市

第 80 回和歌山県美術展覧会 応募・入賞・入選状況

	入賞・入選点数	最優秀賞	優 秀 賞	佳　作	入　選	出品点数	応募者数
洋　画	57	1	4	10	42	105	92
日本画	9	1	1	1	6	12	12
書	38	1	3	6	28	62	62
写　真	44	1	4	7	32	92	80
工　芸	26	0	2	3	21	38	32
彫　塑	5	1	1	1	2	10	10
華　道	3	1	1	1	0	5	5
合　計	182	6	16	29	131	324	293

審　査　員

洋画

岩本　　芳（洋画家）　岡﨑ゆみこ（洋画家）　坂口　卓平（洋画家）
中前　光雄（洋画家）　中村　恵伍（洋画家）　益山　　恵（洋画家）
松山　敏彦（洋画家）　小林　　公（兵庫県立美術館館長補佐・学芸員）

日本画

田中　重造（日本画家）　清水　　薫（日本画家）　増田　淑子（日本画家）
角野千佳子（日本画家）　小倉　実子（京都国立近代美術館主任研究員）

書

小澤　清湖（書家）　小島　健堂（書家）　谷口　和光（書家）
池永　碧濤（書家）　小林　明香（書家）　舟尾　圭碩（書家）
岡村　恵窓（毎日書道展審査会員）

写真

青木　義雄（写真家）　照井　四郎（写真家）　山中　健次（写真家）
花畑　重靖（写真家）　竹葉　　丈（写真評論家 前名古屋市美術館学芸員）

工芸

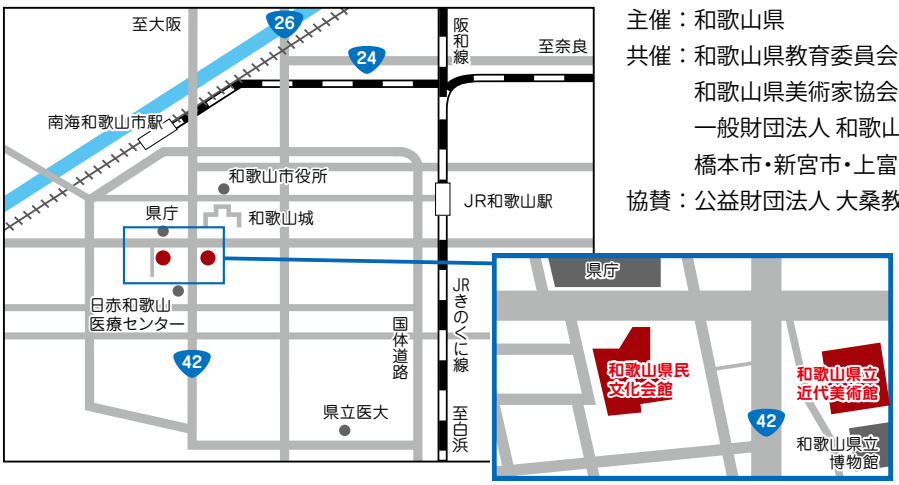
寒川　栖豊（陶芸家）　井澤　正憲（陶芸家）　山田　健二（漆芸家）
田中　紀子（染織家）　田中利恵子（染色家）　吉岡恵美子（京都精華大学 芸術学部教授）

彫塑

橋本　和明（彫刻家）　大木　譲司（彫刻家）　池上　　司（公益財団法人尼崎市文化振興財団 アートディレクター）

華道

福永八千代（華道家）　宮脇　尚子（華道家）　西阪　保則（日本いけばな芸術協会理事 専慶流家元嗣）



主催：和歌山県
共催：和歌山県教育委員会・和歌山県立近代美術館
　　和歌山県美術家協会・毎日新聞社和歌山支局
　　一般財団法人 和歌山県文化振興財団
　　橋本市・新宮市・上富田町
協賛：公益財団法人 大桑教育文化振興財団
（順不同）

あなたに夢を。街に元気を。
クーちゃん 宝くじ
VEGETABLE OIL INK